

○母島 赤水対策沈砂池

小笠原の表層土壌は、赤い粘土のラテライトという土で覆われており、裸地となっている斜面などから、降雨時に赤い土が混ざり赤水となって海に流れ出ます。そこで、海岸に流れ出した赤水が、サンゴや魚などの成育に影響を及ぼさないように、降雨時に流れ出る赤水の流出を抑制する、赤水対策沈砂池を設置しました。(平成21年4月供用開始)



貯水量は約300tで傾斜地に2段の水槽構造となっており、各段の下流部分に“ろ過施設”を設け、赤水をろ過する構造となっています。

